平成２２年度　三沢市行政評価実施状況

＜事務事業内部評価（平成 22 年 5 月 7 日から 6 月 18 日まで実施）＞

〇三沢市総合振興計画前期基本計画に掲げられた平成２１年度実施事務事業を評価の対象として、事務事業担当課による自己評価を客観的に検証し、事務事業の妥当性を判断するため、参事級及び課長級職員を内部評価員として実施し、その結果を受け、担当課が平成２３年度以降の方向性をまとめました。

自己評価実施　４１７件

〇内部評価の結果

・事務事業の必要性、有効性、効率性について
５段階【５（極めて高い）　４（高い）　３（普通）　２（低い）　１（かなり低い)】で点数を付け、これらの合計点と必要性の点数から事務事業の妥当性をＡ～Ｄの４段階で判定し、総合評価としました。

「Ａ」（１２点以上で必要性が３点以上）	３１３件
「Ｂ」（９点～１１点で必要性が３点以上）	７９件
「Ｃ」（６点～８点のもの、または９点以上で必要性が２点以下のもの）	２２件
「Ｄ」（６点未満のもの）	３件
計	４１７件

・平成２３年度の方向性は次のとおりです

現状維持	３０５件
見直し（縮小（予算を伴う))	８件
見直し（拡大（予算を伴う))	２５件
見直し（予算を伴わない)	２３件
廃止	８件
事業完了	４８件
計	４１７件

＜施策評価（平成 22 年 6 月 21 日から 7 月 12 日まで実施）＞

〇三沢市総合振興計画前期基本計画に掲げられた施策について、施策の進捗状況や、施策を構成する事務事業の優先度等を判断するために、施策主管部長が評価しました。

評価対象施策　７３件

施策の進捗状況	施策数
順調に進んでいる	２０件
概ね進んでいる	４８件
あまり進んでいない	４件
進んでいない	１件
計	７３件

＜外部評価（平成 22 年 7 月 12 日から 10 月 1 日まで実施）＞

〇行政改革推進委員により市民の視点から、事務事業、施策について外部評価を実施。行政改革推進委員１５名が３部会に分かれて検討し、担当課ヒアリングを実施しながら、施策については進捗状況、事務事業については今後の方向性を主な着目点として審議しました。なお、この外部評価の一連の作業は公開で行いました。

部会において詳細審議し意見を付した施策・・・・・・・・８件
（そのほかに意見を付した施策・・・・・・・・・１４件）
※上記以外の施策の進捗状況については、妥当とされました。

部会により詳細審議し意見を付した事務事業・・・・・・・１６件
※上記以外の事務事業についても審議しています。

＜外部評価意見に対する方針＞

〇外部評価意見に対する方針は平成２２年１１月１６日開催の行政経営会議において決定されました。